

**東京都産業労働局による「未来を拓くイノベーション TOKYO プロジェクト」に
(株) ナイルワークスが採択されました！**

株式会社ナイルワークス（本社：東京都渋谷区 代表取締役社長：柳下洋 以下、「ナイルワークス」）は、東京都産業労働局による「第2回（令和元年度）未来を拓くイノベーション TOKYO プロジェクト」（以下、「本プロジェクト」）に採択されました。

本プロジェクトは東京都が波及効果のある新たなビジネスの創出を目的として行う補助事業で、都内ベンチャー・中小企業が大企業等とのオープンイノベーションにより事業化する革新的なサービス・製品等を対象に、その開発、改良、実証、販路開拓に要する経費の一部を補助するものです。

日本では、農業従事者の高齢化や後継者不足により生産者が減少し、農地の集約化や農業法人の大規模化が進み、農作業の省力化や、生産性の向上および品質管理の効率化を可能にするスマート農業が注目を集めています。農業にとって最も重要なことは農作物の生育状態の正確な把握で、生育状態に応じて、水、肥料、農薬を適時適切に行うコントロールが欠かせません。ナイルワークスが開発した「農業用ドローン」は、これまでの農業のあり方を転換する新技術として期待されています。

本プロジェクトにおいてナイルワークスは、自社が保有するセンチメートル精度で完全自動飛行*させる技術と、作物の生育状態をリアルタイムで取得診断する生育診断技術をもとに、地球規模の気象変動に対して、農作物の収量と品質を安定化させることを目的とした「生育調査システム」へと新たに展開いたします。

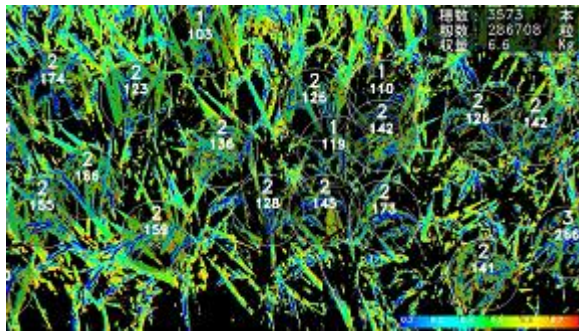
「生育調査システム」は、①自動運転の生育調査専用ドローンの製造・開発、②広域での作業を自動化するため軽トラックを空母とする陸空ハイブリット化、③生育調査から得られた情報をもとにした最適栽培支援技術、で構成いたします。

ナイルワークスは、今後も事業会社と連携し、農業用ドローンの完全自動運転技術と生育診断技術を高度化し、農作業の大幅な省力化を図るとともに、栽培管理の効率化や農作物の

収量と品質を飛躍的に向上させて参ります。

*完全自動飛行

事前に圃場の形を測量します。操作タブレットの「開始ボタン」を押すだけで離陸から散布、着陸までを全て自動で行います。



生育診断（開発中）



農業用ドローン

【未来を拓くイノベーション TOKYO プロジェクトについて】

・ 未来を拓くイノベーション TOKYO プロジェクト

https://mirai-innovation.tokyo/project/2020_01/

・ 東京都 報道発表資料

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2020/01/23/13.html>

【株式会社ナイルワークスについて】

株式会社ナイルワークスは、「空からの精密農業」をビジョンに掲げ、2015年1月に設立しました。世界初のセンチメートル精度で完全自動飛行する農業用ドローンの開発および、ドローンに搭載した専用カメラで作物の生育状態をリアルタイムで診断し、診断結果に基づいた栽培管理を提案する生育診断システムの事業化を推進しています。2019年6月より量産化モデル第一弾である農業用ドローン「Nile-T19」を販売開始。生育診断（開発中）と薬剤散布を実現する新しい農業スタイルは、市場でも大きな期待を寄せられています。

【本リリースに関するお問い合わせ】

株式会社ナイルワークス 広報担当：森田

〒151-0066 東京都渋谷区西原 3-1-7 T's Place 3F

TEL : 03-6804-8555 Fax : 03-6804-8571

E-mail : info@nileworks.co.jp